



今年も完成度が高いぞ！

## 夏休みの作品・研究発表会

8月25日(水)～9月3日(金)の期間、職員室前の廊下は、「夏休みだからできること！」の“カタチになったもの”であふれていました。連日、休み時間には、他の学年の作品を見に来る人で賑わっています。



今年の夏は、プールが途中でなくなったり、わくわく教室の自粛要請があったりと、学校に来る時間が少なく、家または地域でじっくりと物事に向き合うことが多かったのではないのでしょうか。「たかせっ子」一人一人の作品の完成度の高さからそのような想像をしました。1作品・1研究から見える子どもたちの頑張りや発想の豊かさ、地道な取組に感動しました。作品完成までお家の方々から助言やちょっとしたフォローをしていただいたことと思います。この夏、継続的にそばで見守っていただきありがとうございました。

8月27日(金)には、「夏休みの作品・研究発表会」を全校で行いました。各学年5分間の持ち時間をそれぞれの学年で工夫を凝らし、作品の素晴らしさとお互いの頑張り共有できる時となりました。



校長と教頭で、全ての学年の作品・研究を一つ一つじっくりと見させてもらいました。それぞれのもつ作品の魅力、先生方はもちろん、校務員さん方や学校に来られたお客さんたちも、みんな熱心に見てくれました。いつものことながら一人一人の作品を見ているときのみんなの表情が、常に笑顔だったのが印象的でした。「作品を完成させ、みんなに見てもらおうんだ」という「たかせっ子」のつくっているときや研究しているときのワクワクがしっかり届いているためなんだなあと思いました。「夏休みしかできないことを頑張りましたよ」という夏休みの目標は、全員合格です。

例年行っています「校長賞」「教頭賞」は次のように決まりました。全員に「校長賞・教頭賞」をあげたいところですが、そうもできないので、心を鬼にして決めさせてもらいました。選んだポイントとしては…①コツコツと長い日数根気強く頑張ったもの。②丁寧に完成させたもの。③特別なものを買ったのではなく、身の回りのものを使って、工夫していることが伝わってくるもの。…を選びました。(確認ですが「校長賞」「教頭賞」は、どちらが上ということはありません。)

### 【校長賞】



「ちょきんばこ」  
後藤さん(1年)



「むしば0  
大作せん」  
高橋さん(3年)



「佐藤家専属シェフのクッキング」  
佐藤さん(5年)

### 【教頭賞】



「わたしの町の  
かんぱんしんぶん」  
阿部さん(2年)



「東京オリンピック  
2020メダル獲得数」  
佐藤さん(4年)



「【ストームグラス】  
を観察してみた」  
稲富さん(6年)

同じく、1年生の教室前に、この夏休み中に頑張った4年生～6年生の「自学学習ノート」の展示も行いました。毎日の自学の方法がよくわかる手本となる素晴らしいノートばかりでした。共通しているところは、書いている字が丁寧で見やすいところでした。

### 【展示者】

- ・ 6年…稲富さん ・ 安倍さん ・ 佐藤さん  
・ 齋藤さん ・ 原田さん
- ・ 5年…稲富さん ・ 佐藤さん ・ 鈴木さん  
・ 佐藤さん ・ 安倍さん
- ・ 4年…大友さん ・ 小沼さん ・ 佐藤さん  
・ 佐藤さん ・ 小坂さん



## 【1年生の作品】



## 【2年生の作品】



## 【3年生の作品】



## 【4年生の作品】



## 【5年生の作品】



## 【6年生の作品】



### 「災害」に備えて

今年度も、全国各地で自然災害が起き、こ

れまででは考えられないような甚大な被害をもたらしています。いつ、どこで、どのような災害が起きるのか全く予想できませんが、子どもたちの「安全・安心」を第一に、非常事態時の対応について、次の4点を確認させていただきます。

- 1 台風や豪雨、吹雪等のため危険が予想される場合は、下校を早めたり登校時間をずらしたり休校したりします。連絡は、緊急メールと電話で行います。
- 2 地震、水害、土砂災害等でスクールバスでの安全な下校ができないと判断した場合は、引き渡しをします。連絡は、緊急メールと電話で行います。
- 3 災害等の非常時に下校させる場合は、放課後わくわく教室もありません。利用者の方で放課後に家に誰もいない児童は、迎えが可能な時間まで学校で預かります。
- 4 災害のため、電話、緊急メールで保護者の方々と連絡が取れない時や、地域の災害状況が学校で把握できない時には、子どもたちを学校に留め置き、引き渡しをします。(東日本大震災のような場合)



### 「給食試食会」実施の確認について



これまでも、全校 PTA の際に「給食試食会」を各学年で何度か実施し、子どもたちの食生活を保護者の皆様にも経験していただきました。「給食試食会」の実施等についてお問い合わせがありましたので、羽後町給食センターに、改めて実施する目的を確認いたしました。「保護者の方に、子どもたちの給食を食べてもらい、食べている様子はもちろん、味や量を確認してもらい、「食育」を一緒に進めていくこと等を目的としています。」とのことでした。試食後のアンケートに「家ではあまり食べないけれど、給食はきれいに完食している。」「給食を見たり食べたりすることで、家での献立や調理の工夫に参考にしている。」との回答があり、実施の成果を感じています。6年間で行っていく食育の一環でありますので、高瀬小学校では1年生の保護者に対し「給食試食会」を位置づけてきていますが、これまでここが曖昧でしたので、今一度確認させていただきたいと思っております。ご理解・ご協力をお願いいたします。